

3.流況・水質

(1) 流量

荒川は、流況係数(最大流量/最小流量)は、寄居で約400であるのに対し、利根川(栗橋)では約60であることから、流量変動の激しい河川であるといえる。

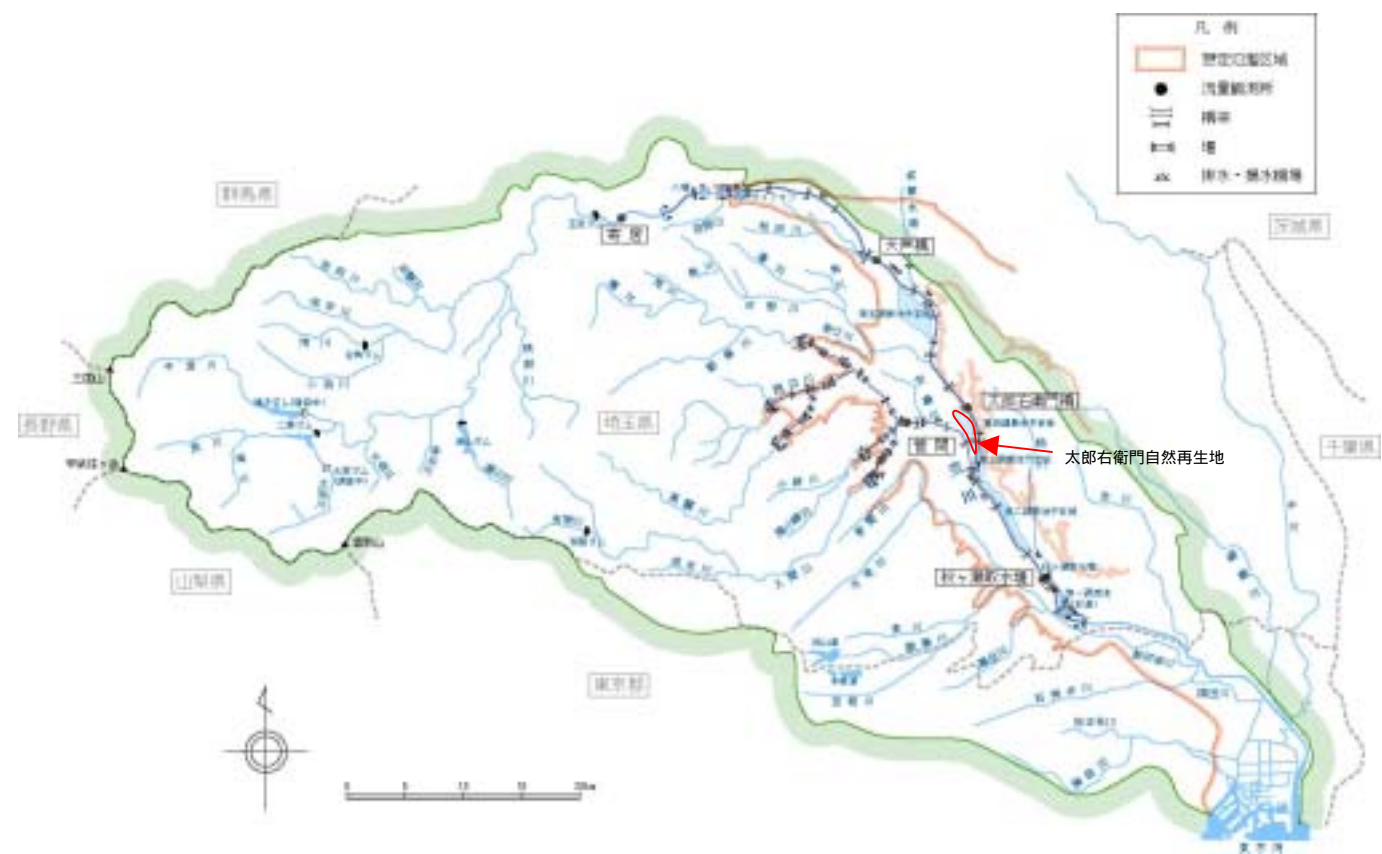
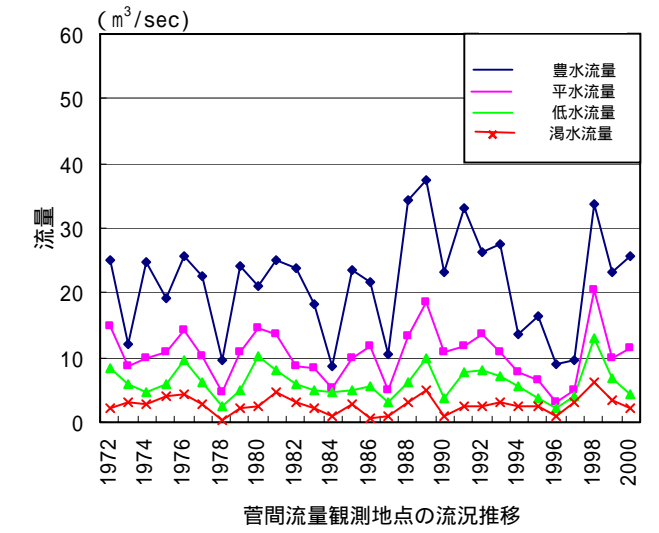
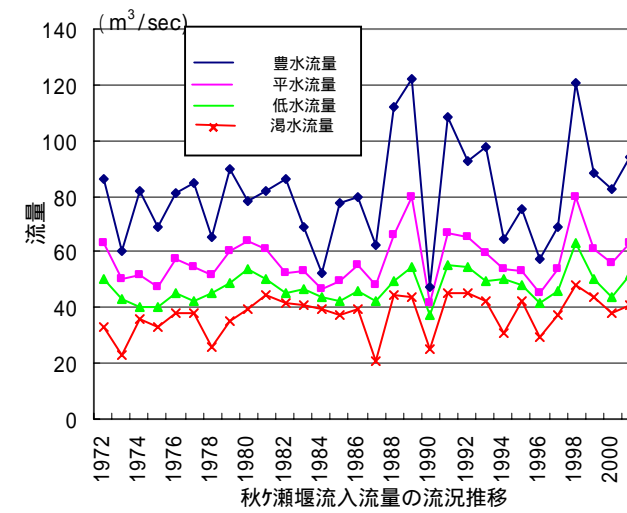
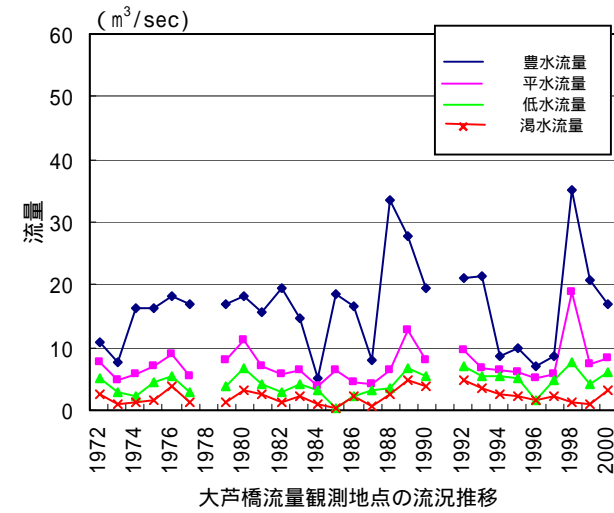
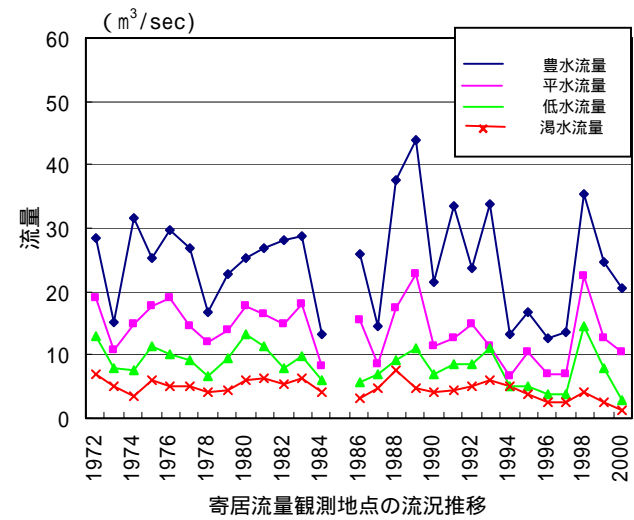
平水流量で荒川の流況を見ると、寄居で約10 m³/sec が、六堰などの取水により大芦橋で約5 m³/sec になり、63.5km 地点で武蔵水路約35 m³/sec と合流し、太郎右衛門橋では約40 m³/sec となっている。その後入間川(菅間約7m³/sec)などが合流し、秋ヶ瀬堰流入流量は約50 m³/sec となっている。

太郎右衛門橋付近の荒川では、武蔵水路からの導水があるため、湧水流量でも10~40m³/sec の流量が維持されている。また、太郎右衛門自然再生地から右岸側2kmほど上流で市野川(約2m³/sec)が合流している。

豊水流量、平水流量、低水流量、湧水流量

1年間分(365日)の日平均流量(一日の流量の平均値)を流量が多いもの順に並べた流量の内、多いものから下記に示した日数の流量値を示し、1年を通じてその日数はこれ以下とならない流量値と表現される。

- ・ 豊水流量：95日目の日平均流量
- ・ 平水流量：185日目の日平均流量
- ・ 低水流量：275日目の日平均流量
- ・ 湧水流量：355日目の日平均流量



資料：河川流量年表等

